

平成 30 年度 第 7 回 生命理工学院教授会議事要録

日 時 平成 30 年 11 月 21 日 (水) 15 : 35～17 : 38

場 所 B 2 棟 4 階大会議室

出席者 三原学院長ほか 62 名

配付資料

- 1 平成 30 年度第 6 回生命理工学院教授会議事要録 (案)
- 2 議題 (教務案件 : 学士課程, 大学院課程)
- 3 平成 30 年度第 7 回教育研究評議会議題
- 4 平成 30 年度第 7 回すずかけ台地区部局長等懇談会議題

プロジェクト資料 (教務)

(学士課程)

- 2-1 平成 30 年度授業関係について
- 2-2 科目等履修生の退学について
- 2-3 学生交流に基づくお茶の水女子大学における科目履修について
- 2-4 協定大学における科目履修について

(大学院課程)

- 2-1 平成 30 年度授業関係について
- 2-2 学生の異動について
- 2-3 海外交流学生について

プロジェクト資料

- 1 特任教員等の選考について
- 2 平成 30 年度各種委員会等名簿 (案)
- 3 平成 30 年度第 7 回教育研究評議会資料
- 4 平成 30 年度第 4 回部局長等連絡会資料
- 5 平成 30 年度第 5 回部局長等連絡会資料
- 6 採用 (可否) 決定通知書
- 7 東京工業大学生命理工学院共通設備の利用料に関する申合せ一部改正案新旧対照表
- 8 ライフサイエンス推進機器共同利用室受託業務について
- 9 平成 30 年度第 7 回すずかけ台地区部局長等懇談会資料
- 10 東京工業大学 (つばめ) 博士学生奨学金 (略称, つばめ奨学金) (仮称) 制度案について (意見照会)
- 11 公益社団法人科学技術国際交流センター (JISTEC) への入会のお願い
- 12 平成 30 年度スペースチャージ徴収額 (案)
- 13 スペースを利用する際のルールの一部変更について
- 14 ペーパーレス化及び資料共有の推進について
- 15 平成 29 年度教育研究活動実績にかかる教員評価の実施について
- 16 スタートアップ経費支援の終了について

回収資料

- 1 特任教員等の選考について (WRHI : 略歴調書, 業績調書)
- 2 特任教員等の選考について (新学術領域研究 : 略歴調書, 業績調書)

○現在員 79 名, 公務出張等 5 名, 定足数 38 名に対して出席者 63 名で教授会成立

○資料1に基づき、前回議事要録（案）を承認した。

議事要旨

I 審議事項

（学士課程）

- 1-1 平成30年度授業関係について
学院長から、プロジェクト資料2-1（学士）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-2 科目等履修生の退学について
学院長から、プロジェクト資料2-2（学士）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-3 学生交流に基づくお茶の水女子大学における科目履修について
学院長から、プロジェクト資料2-3（学士）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-4 協定大学における科目履修について
学院長から、プロジェクト資料2-4（学士）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

（大学院課程）

- 1-1 平成30年度授業関係について
学院長から、プロジェクト資料2-1（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-2 学生の異動について
学院長から、プロジェクト資料2-2（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-3 海外交流学生について
学院長から、プロジェクト資料2-3（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 2 特任教員等の選考について
 - (1) WRHI 特任准教授
上野教授（標記選考委員会委員長）から、プロジェクト資料1-1及び回収資料1に基づき、選考結果の報告があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認し、学長に報告することとした。
 - (2) 新学術領域研究 特任助教
上野教授（標記選考委員会委員長）から、プロジェクト資料1-2及び回収資料2に基づき、選考結果の報告があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認し、学長に報告することとした。
- 3 平成30年度各種委員会委員の変更等について
学院長から、プロジェクト資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

II 諸報告

- 1 教育研究評議会関係
近藤評議員から、資料3及びプロジェクト資料3に基づき、平成30年度第7回教育研究評議会の審議概要等について報告・説明があった。
- 2 部局長等連絡会関係
学院長から、プロジェクト資料4及びプロジェクト資料5に基づき、平成30年度第4回及び第5回部局長等連絡会の概要等について報告・説明があった。
- 3 本学院関係

- (1) 教員候補者の採用の可否の決定について
 - ①生命理工学系 生命理工学コース 生命工学分野 教授
学院長から、プロジェクト資料6に基づき、本教員候補者の採用の可否の決定について説明があった。
- (2) 生命理工学院共通整備の利用料に関する申合せの一部改正について
太田副学院長（研究担当）から、プロジェクト資料7に基づき、本生命理工学院共通整備の利用料に関する申合せの一部改正について説明があった。
- 4 系主任・コース主任会議関係
特になし
- 5 各種委員会等関係
 - (1) 生命国際関係室関係
特になし
 - (2) 研究企画推進会議関係
太田副学院長（研究担当）から、以下の事項について説明があった。
 - ・ライフサイエンス推進機器共同利用室受託業務について（プロジェクト資料8）
 - ・ライフサイエンス推進機器共同利用室 Web ページへの共通機器リスト等の掲載について
 - ・研究機器に係る再調査への協力依頼について
 - (3) 安全衛生委員会関係
湯浅副学院長（総務担当）から、以下の事項について説明があった。
 - ・パイプスペース内の物品等の撤去及び点検巡回について
 - (4) 生命理工学院懇親会について
秦補佐会委員から、本生命理工学院懇親会について、12月の学院セミナー終了後に開催する旨案内があった。
 - (5) 第7回生命理工国際シンポジウムについて
山田生命理工国際シンポジウム実行委員会主査から、本国際シンポジウムの開催について案内があり、併せて、参加者名簿の提出に関する協力依頼があった。
- 6 すすかけ台地区部局長等懇談会関係
学院長から、資料4及びプロジェクト資料9に基づき、平成30年度第7回すすかけ台地区部局長等懇談会の概要等について報告・説明があった。
- 7 その他
 - (1) 東京工業大学（つばめ）博士学生奨学金（略称、つばめ奨学金）（仮称）制度案について
学院長から、プロジェクト資料10に基づき、本東京工業大学（つばめ）博士学生奨学金（略称、つばめ奨学金）（仮称）制度案について説明があった。
 - (2) 公益社団法人 科学技術国際交流センター（JISTEC）への賛助会員入会について
学院長から、プロジェクト資料11に基づき、本公益社団法人科学技術国際交流センター（JISTEC）への賛助会員入会について説明があった。
 - (3) スペースチャージの徴収額（案）について
学院長から、プロジェクト資料12に基づき、本スペースチャージの徴収額（案）について説明があった。
 - (4) スペースを利用する際のルールの一部変更について
学院長から、プロジェクト資料13に基づき、本スペースを利用する際のルールの一部変更について説明があり、意見等がある場合は学院長に連絡するよう発言があった。
 - (5) 競争的研究資金（科研費を含む）に係るインセンティブ経費について
学院長から、間接経費が配分される競争的研究資金（科研費を含む）の獲得教員に対し、間接経費の5%をインセンティブ経費として配分する予定である旨説明があった。
 - (6) 学士課程入試について

学院長から、本学士課程入試について説明があり、次いで、各グループ長から、当該グループにおける意見等に関する報告があり、当該意見等も参考にしつつ次回将来構想委員会で検討の上、しかるべき時期に大学に報告を行うこととした。

(7) ペーパーレス化及び資料共有の推進について

学院長から、プロジェクト資料14に基づき、本ペーパーレス化及び資料共有の推進を図るため、次回教授会から、以下の試行を行うこととする旨説明があった。

- ・回収資料を除く全ての資料（議題表を含む）をPDFファイル化する。
- ・原則として、前日までに、当該ファイルをT2BOXにアップロード（学内限定設定、PW設定）の上、各構成員に共有ボックスのURL等を連絡する。
- ・当該ファイルを各構成員がPCにダウンロードの上、参照する（プロジェクト投影も行う）。
- ・助教にも共有ボックスのURL等を連絡することにより、教授会資料の回覧は廃止する。
- ・将来的には遠隔会議システムによりすずかけ台と大岡山を結び開催することを諸条件が整えば検討する。

(8) 平成29年度教育研究活動実績にかかる教員評価の実施について

学院長から、プロジェクト資料15に基づき、本平成29年度教育研究活動実績にかかる教員評価の実施について説明があった。

(9) スタートアップ経費支援の終了について

学院長から、プロジェクト資料16に基づき、本スタートアップ経費支援の終了について説明があった。なお、生命理工学院独自の新任教員（講師以上）への経費支援（上限200万円）については、継続予定である旨説明があった。

(10) 大隅ジャーナル賞について

学院長から、本大隅ジャーナル賞について、改めて生命理工学院内にメールにて周知済みである旨説明があり、対象学生がいる場合は申請するよう依頼があった。

(11) 予算執行状況の確認（個別モニタリング）について

学院長から、一定基準により抽出されたリスクデータを基に、予算執行状況のモニタリングを行っている旨説明があった。

(12) 学院セミナーについて

学院長から、本学院セミナーについて、本年12月から教授会終了後に毎月開催する旨改めて説明があった。

以上